



本町だより

横浜市立本町小学校 令和5年 6月30日 発行 第607号

子どもから学んだこと

副校長 深井 知英

「本町小学校の子どもたち、よくあいさつしてくれるんですよ。私は子どもから元気ももらっています。」地域に住む方から、そう声をかけられ、私はとてもうれしい気持ちになりました。

声をかけてくれた地域の方と同様、朝登校してくる子どもや校舎内ですれ違う子どもがあいさつをすすんでしてきたり、返事をしてくれたりすると心が温かくなり、元気が出ます。あいさつは人に元気や気持ちよさを与えてくれる魔法の言葉だと私は思っています。

今から10年以上前の話になりますが、私がある学校で六年生の担任をしていた頃の話です。夜、仕事を終えてバス停に並んでいると、自分が担任しているクラスの隣のクラスの女の子が前に並んでいました。Kさんは今からバスに乗って駅の近くにある塾に行くとのことでした。しばらくするとバスが来ました。

Kさんはバスに乗るときに、運転手さんに向かって「よろしくお願いします」と言いました。そしてバスから降りるときにも運転手さんに聞こえる声で「ありがとうございました」と言いました。私はKさんのことを素晴らしいなと思った一方、乗る時も降りる時も無言だった自分のことが恥ずかしくなりました。教師として子どもたちに「あいさつは大事だよ」とか「自分から進んであいさつできるといいよね」と話しているのに…。校内だけではなく、普段の生活の中であいさつができていないKさんからほんとの意味であいさつの大切さを私は学んだ気がしました。それ以来、私はバスに乗るときに、運転手さんにあいさつをするようになりました。

(中略)

これからも、あいさつをはじめ、言葉を大切にしていきたいと思えます。

本町小学校は、2024年に創立120年を迎えます。本町小HPはこちらから(学校日記を更新中)→

